

高田6区

まちづくりニュース

第一号

編集 福島大学

共生システム理工学類

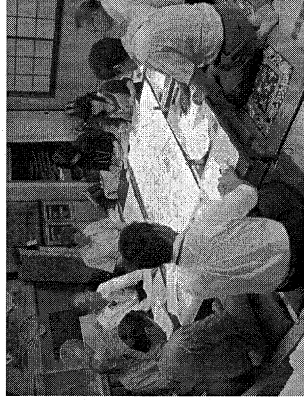
地域計画研究室

三年 孫本 直弥

八木 真梨恵

平成二十二年九月二十五日、第一回「高田6区商業まちづくり推進計画」ワークショップを開催しました。推進計画は、高田6区に在住する住民が、地域の発展のために商業者と協力をし、次世代に残せるより良い町をつくることを目的としています。

今回のワークショップでは、4つの質問について専用の用紙に記入し、それをグループ内で発表していただくという形式で行いました。ここでは、特に多かった意見や印象的な意見などを紹介させていただきます。



【問1】私は会津美里町(高田6区)の

が好き。

立地条件

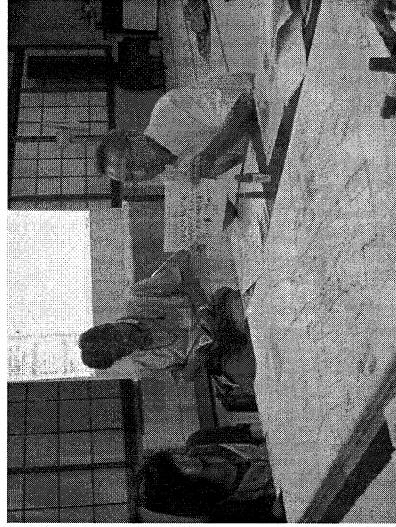
- ・町の中心地で学校が近い
- ・近くに銀行、役場、病院があり、高田のなかでは住みやすい
- ・街路灯が明るく夜も歩きやすい
- ・商店が多く便利である(今はだいぶ少なくなったが)
- ・銀行や医院があり安心できる生活環境である
- ・他の地区より街路景観が良い

場所

- ・裏通り
- ・雷神様の廻り
- ・二本柳公園
- ・小学校のトチの木
- ・田んぼのホテル
- ・宮川の清流の桜と磐梯山
- ・あいあいタクシーの待合室(まつてらんじよ)
- ・中学校周辺
- ・ポケットパーク

住民間のつながり

- ・人情が厚い
- ・子供たちが登校時等にあいそつする
- ・地域の酒飲みがある
- ・6区の住民が好きである
- ・イベントがあるとすぐに集まるよつな和気あいあいとした体育館がある
- ・昔からの住民も多く、地区住民の心が和やかで地域の輪が保たれている
- ・行政区の世帯数が多く、同世代が沢山いることから、地域活動も多く、楽しく過ごすことができる
- ・持家が長く古くから住んでいるために顔見知りが多い
- ・中央商栄会は昔から結束が強い



ワークショップの中で、たくさんの方々が「住民間のつながり」に関する内容を挙げていただいたことが非常に印象的でした。この良さを、今後商店街の方向性を考える上でも大切にし、人間味のある安全で温かい街づくりを実現して欲しいと思いました。

【問2】私は会津美里町(高田6区)の

を改善したい。

仕組み、その他

- ・セブンスイブンの空き店舗など、商店街で空いている土地や空き店舗を貸して欲しい
- ・二十〜三十歳代の住民参加を促すような仕組みがあるとよい
- ・商店街の活性化
- ・商店の減少(利益面、雇用面)
- ・自分から町をきれいにする心を持つてほしい

【問2】(改善の続き)

場所

- ・浮身堂跡地 ・宮川
- ・ゴミ置き場 ・ドブ川
- ・東裏の川(大雨による洪水、ゴミを捨てる人がいる、大雨や雪対策としてまっすぐにしたい)
- ・集会所(町内会の集まりや、飲食可能で自由に使えるような場所)
- ・雷神様の周辺(ゴミや危険物が捨てられている)
- ・本通りの歩道(歩きにくい、車いすの方に不便)
- ・街路灯や防犯灯が少なく裏道が暗い(中学校の裏、中学校前の一号线)
- ・ミニ公園やポケットパークの利用が少ない
- ・大東銀行の横道路の拡張(保育園送迎車を通るのに狭い)
- ・区域内東西線の道路(舗装されていないことや幅が狭い)

【問3】私は会津美里町(高田6区)の

_____を守りたい。

- ・人間関係(近所づきあいは大変けれども生活感や人間味がある、人情と人の優しさ、地区行事にみんなが集まってくれる、世代別の交流会、区民の融和と協力の気持ち)
- ・色々な決まり事(現在は奉仕作業があっても出る人が決まっている、若い参加者が少ない、ゴミ出しのルール)
- ・手入れの行きとどいた街並み、通り、樹木
- ・これ以上悪くならないように自分のお店を含めて現在の商店街を存続させたい
- ・自店(商店街)を守っていききたい

改善点を挙げるのに時間がかかった人が多くみられました。また、挙げられた内容を見ても、商店街の活性化に直接的に関係するような意見がないように思いました。住民の方の危機意識があまり感じられず、実際暮らしている方々はそれ程困っているわけではないのだからという印象を受けました。

【問4】私は会津美里町(高田6区)に

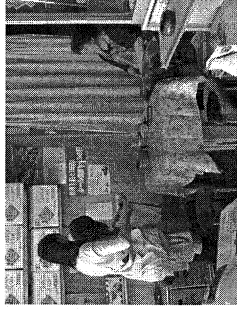
_____が

あったらいいなと思います。

- ・飲み屋 ・飲食店 ・コーヒーショップ ・区の集会場 ・コンビニ ・公立病院
- ・釣り道具屋 ・集会所がないので食堂
- ・インスタントショップ(コーヒーや食事がすぐにお客さんに出すことができる、若者がたくさん来て良い)
- ・地区体育部女性部(人集めや連絡がスムーズに行えるように)

編後記

今回のワークショップの事前準備として、当日の午後に福島大学地域計画研究室で実際に商店街の視察と聞き込み調査を行いました。お忙しい中調査にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



今回のワークショップを通じて、高田6区には独自のコミュニティが存在し住民間の仲がとても良いということや、景観の良い場所があること、整備の必要な場所があることなどがわかりました。今後、残り二回のワークショップで、さらに具体的な問題点や改善すべき点を明確にし、商店街のあり方や暮らしやすさを向上する方法を考えていければと思います。そのためにもっと住民の方々の生の声を出しやすい環境を作っていけるように工夫していきたいです。

今後も、商店街を調査で訪れることがあるかと思いますが、その際はご協力よろしく願います。

ご意見・ご質問などございましたら下記の連絡

先までお気軽にご連絡ください。

960-1296 福島市金谷川1番地
 福島大学 共生システム理工学類
 地域計画研究室 教授 鈴木 浩
 e-mail s0710171@ipc.fukushima-u.ac.jp
 TEL (024) 548-5276

次回お知らせ

第2回目のワークショップ
 は、10月21日18時～
 20時、場所は高田公民館
 を予定しています。